

病院・有床診療所調査

【調査実施委託先】 一般社団法人 中央調査社

- ・本アンケート調査を通して、医療機関の実態を把握し、より望ましい医療政策の実現に向けた提言を行ってまいります。より多くのご意見を反映させるために、ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。
- ・ご回答いただいた内容は厳重に管理し、政策提言および医師の就労継続支援、女性医師支援センターの新たな事業展開の検討にのみ活用します。また、回答内容は統計的に処理を行うため、医療機関が特定されること、個別の回答内容が明らかになることは一切ありません。
- ・お忙しいところ恐縮ですが、**2025年9月26日（金）まで**にこちらの調査票に記入の上ご返送いただくか、もしくはWEB 回答フォームのどちらかでご回答くださいますようお願い申し上げます。

【オンラインでの回答方法のご案内】

- ・本調査の WEB サイトにアクセスしていただき、ID とパスワードを入力してお進みください。詳細につきましては、同送の「オンライン回答方法のご案内」をご確認ください。

URL <https://crs.post-survey.com/1876/>

ハースワート



※IDとパスワードは全て半角で、アルファベットは小文字でご入力ください。

【調査票ご記入にあたってのお願い】

- ・2025 年 8 月現在の状況でご回答ください。
- ・ご記入は、鉛筆または黒・青のペン・ボールペンでお願いいたします。
- ・質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にだけおたずねするものもありますが、その場合は「→」等の指示にそってお進みください。
- ・お答えは、当てはまる回答についている数字を○印で囲んでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。「その他」に当てはまる時は、その数字を○で囲み、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- ・回答は1つだけ選んで○印をつけてください。ただし、質問文の末尾に（複数回答可）とある場合にはいくつでも○印をつけてください。
- ・ご記入が終わりましたら、もう一度、記入まちがいや記入もれがないかどうかお確かめください。

1. 医療機関の基本情報について

Q 1 貴院の郵便番号を7桁（ハイフン抜き）でご回答ください。

※都道府県レベルでの回答の公表や、個別の医療機関が特定化される形での回答の公表は一切行いません。

--	--	--	--	--	--	--

Q 2 貴院の立地条件について最もあてはまるものを以下の選択肢から**ひとつ**選んでください。

- 1 大都市（東京都特別区・政令指定都市）
- 2 中規模都市（人口 50 万～100 万人程度）
- 3 小規模都市（人口 10 万人～50 万人程度）
- 4 人口 10 万人未満の市町村
- 5 へき地・離島

Q 3 貴院の設立母体を以下の選択肢から**ひとつ**選んでください。

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1 国（国立大学法人） | 10 公益法人 |
| 2 国（国立大学法人以外の法人） | 11 医療法人 |
| 3 公的医療機関（公立学校） | 12 学校法人 |
| 4 公的医療機関（都道府県） | 13 社会福祉法人 |
| 5 公的医療機関（市町村） | 14 医療生協 |
| 6 公的医療機関（日赤・済生会） | 15 会社 |
| 7 公的医療機関（厚生連） | 16 その他の法人 |
| 8 公的医療機関（3～7 以外の法人） | 17 個人 |
| 9 社会保険関係団体 | |

Q 4 貴院の総病床数を以下の選択肢から**ひとつ**選んでください。

- 1 500 床以上
- 2 200～499 床
- 3 100～199 床
- 4 20～99 床
- 5 19 床以下（有床診療所）

Q 5 貴院が有する病床機能を以下の選択肢から**すべて**選んでください。(複数選択可)

- 1 高度急性期
- 2 急性期
- 3 回復期
- 4 慢性期

Q 6 貴院が標ぼうしている診療科を以下の選択肢から**すべて**選んでください。(複数回答可)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 内科 | 23 肛門外科 |
| 2 呼吸器内科 | 24 脳神経外科 |
| 3 循環器内科 | 25 整形外科 |
| 4 消化器内科（胃腸内科） | 26 形成外科 |
| 5 腎臓内科 | 27 美容外科 |
| 6 神経内科 | 28 眼科 |
| 7 糖尿病内科（代謝内科） | 29 耳鼻いんこう科 |
| 8 血液内科 | 30 小児外科 |
| 9 皮膚科 | 31 産婦人科 |
| 10 アレルギー科 | 32 産科 |
| 11 リウマチ科 | 33 婦人科 |
| 12 感染症内科 | 34 リハビリテーション科 |
| 13 小児科 | 35 放射線科 |
| 14 精神科 | 36 麻酔科 |
| 15 心療内科 | 37 病理診断科 |
| 16 外科 | 38 臨床検査科 |
| 17 呼吸器外科 | 39 救急科 |
| 18 心臓血管外科 | 40 歯科 |
| 19 乳腺外科 | 41 矯正歯科 |
| 20 気管食道外科 | 42 小児歯科 |
| 21 消化器外科（胃腸外科） | 43 歯科口腔外科 |
| 22 泌尿器科 | |

Q6SQ Q6の標ぼう科以外に実施している事業があれば、以下の選択肢からすべて選んでください。(複数選択可)

- 1 健康診断・人間ドック・各種検診
- 2 在宅診療
- 3 産業医
- 4 その他の自由診療

Q7 貴院は救急告示医療機関ですか。

- 1 救急告示医療機関である
- 2 救急告示医療機関ではない

Q8 貴院は医育機関ですか。

※医育機関：「学校教育法」において、医学又は歯学の教育を行うことに付随して設けられた病院及び分院をいい、大学研究所附属病院も含む。(厚生労働省)

- 1 医育機関である
- 2 医育機関ではない

2. 女性医師と65歳以上の医師の雇用状況について

Q9 貴院で勤務する医師(総数)、そのうち、女性医師、65歳以上の医師について、「常勤」、「非常勤」別に人数を教えてください。

※「0人」の項目は、「0」と回答してください。

※「把握していない・不明」の項目は、数字5桁で「99999」と回答してください。

	男女総数 (人)	うち女性総数 (人)	うち65歳以上 男女総数(人)
常勤医師数	人	人	人
非常勤医師数	人	人	人

Q10 貴院で勤務する医師（総数）、そのうち、女性医師、65歳以上の医師について、
「管理職」、「経営層」、「参与・顧問」別に人数を教えてください。

※「0人」の項目は、「0」と回答してください。

※「把握していない・不明」の項目は、数字5桁で「99999」と回答してください。

	男女総数 (人)	うち女性総数 (人)	うち65歳以上 男女総数(人)
管 理 職	人	人	人
経 営 層	人	人	人
参 与 ・ 顧 問	人	人	人

※「管理職」、「経営層」、「参与・顧問」の定義は、以下をご参照ください。

管 理 職：いわゆる中間管理職として、部下やメンバーの業務の管理監督責任を負い、労働
法令上の管理監督者に相当する役職のこと。

経 営 層：理事長や理事、院長、副院長等の職位にあり、社員総会や評議員会、経営会議等
の一員として病院や法人の運営および経営方針に関わる意思決定に直接関与する
役職のこと。

参与・顧問：専門的な知識や技術を基に、病院や法人の意思決定等を補佐・支援する立場にあ
る役職のこと。

Q11 現在貴院が標ぼうしている診療科のうち、今後、貴院で女性医師の活躍を期待したい診療科を教えてください。（複数選択可）

1 内科	25 整形外科
2 呼吸器内科	26 形成外科
3 循環器内科	27 美容外科
4 消化器内科（胃腸内科）	28 眼科
5 腎臓内科	29 耳鼻いんこう科
6 神経内科	30 小児外科
7 糖尿病内科（代謝内科）	31 産婦人科
8 血液内科	32 産科
9 皮膚科	33 婦人科
10 アレルギー科	34 リハビリテーション科
11 リウマチ科	35 放射線科
12 感染症内科	36 麻酔科
13 小児科	37 病理診断科
14 精神科	38 臨床検査科
15 心療内科	39 救急科
16 外科	40 歯科
17 呼吸器外科	41 矯正歯科
18 心臓血管外科	42 小児歯科
19 乳腺外科	43 歯科口腔外科
20 気管食道外科	44 健康診断・人間ドック・各種検診
21 消化器外科（胃腸外科）	45 在宅診療
22 泌尿器科	46 産業医
23 肛門外科	47 その他の自由診療
24 脳神経外科	48 特になし

Q11SQ Q11 の選択肢を選んだ理由を教えてください。（自由記述）

Q12 現在貴院が標ぼうしている診療科のうち、今後、貴院で65歳以上の医師の活躍を期待したい診療科を教えてください。（複数選択可）

1 内科	25 整形外科
2 呼吸器内科	26 形成外科
3 循環器内科	27 美容外科
4 消化器内科（胃腸内科）	28 眼科
5 腎臓内科	29 耳鼻いんこう科
6 神経内科	30 小児外科
7 糖尿病内科（代謝内科）	31 産婦人科
8 血液内科	32 産科
9 皮膚科	33 婦人科
10 アレルギー科	34 リハビリテーション科
11 リウマチ科	35 放射線科
12 感染症内科	36 麻酔科
13 小児科	37 病理診断科
14 精神科	38 臨床検査科
15 心療内科	39 救急科
16 外科	40 歯科
17 呼吸器外科	41 矯正歯科
18 心臓血管外科	42 小児歯科
19 乳腺外科	43 歯科口腔外科
20 気管食道外科	44 健康診断・人間ドック・各種検診
21 消化器外科（胃腸外科）	45 在宅診療
22 泌尿器科	46 産業医
23 肛門外科	47 その他の自由診療
24 脳神経外科	48 特になし

Q12SQ Q12の選択肢を選んだ理由を教えてください。（自由記述）

3. 採用の状況や医療提供体制の課題について

Q13 直近3年間における貴院の女性医師の採用数はどのような傾向ですか。
以下の選択肢から最も当てはまるものをひとつ選んでください。

- 1 増加傾向である
- 2 やや増加傾向である
- 3 どちらでもない
- 4 やや減少傾向である
- 5 減少傾向である
- 6 採用していない

Q13SQ Q13の選択肢を選んだ理由を教えてください。(自由記述)

Q14 貴院では女性医師の採用の際に、どのような募集媒体を利用していますか。
以下の選択肢から主なものを3つまで選んでください。(3つまで選択可)

- 1 大学医局の紹介・派遣
- 2 院内関係者・友人・知人の紹介
- 3 自院のホームページや公式SNS
- 4 有料求人広告(新聞・雑誌・インターネット等)
- 5 公共職業安定所(ハローワーク)
- 6 地方自治体の無料職業紹介
- 7 日本医師会女性医師バンク
- 8 民間人材紹介会社(具体的会社名:)
- 9 その他
- 10 採用していないので利用しない

Q15 貴院の就業規則では、医師の定年制を設けていますか。

1 定年あり (. . 歳)	2 定年なし → (Q16 へ進んでください)
---	---

↓ (Q15 で「1 定年あり」を選択した方のみ)

Q15SQ 貴院では、医師の定年後の雇用延長を行っていますか。

1 雇用延長あり (延長期間あり . . 歳まで) 2 雇用延長あり (延長期間なし) 3 雇用延長なし

Q16 直近3年間における貴院の65歳以上の医師の採用数はどのような傾向ですか。

以下の選択肢から最も当てはまるものをひとつ選んでください。

1 増加傾向である 2 やや増加傾向である 3 どちらでもない 4 やや減少傾向である 5 減少傾向である 6 採用していない

Q16SQ Q16 の選択肢を選んだ理由を教えてください。(自由記述)

--

Q17 貴院では 65 歳以上の医師の採用の際に、どのような募集媒体を利用していますか。

以下の選択肢から主なものを3つまで選んでください。(3つまで選択可)

- 1 定年後の再雇用
- 2 大学医局の紹介・派遣
- 3 院内関係者・友人・知人の紹介
- 4 自院のホームページや公式 SNS
- 5 有料求人広告（新聞・雑誌・インターネット等）
- 6 公共職業安定所（ハローワーク）
- 7 地方自治体の無料職業紹介
- 8 日本医師会女性医師バンク
- 9 民間人材紹介会社（具体的会社名： ）
- 10 その他（具体的に： ）
- 11 採用していないので利用しない

Q18 医師の職業紹介事業について、どのようなイメージをお持ちですか。（自由記述）

--

Q19 医師の職業紹介や募集に関して、どのようなサービスがあればよいと思いますか。

(自由記述)

Q20 医師の職業紹介に限らず、貴地の医療提供体制の課題について教えてください。
(自由記述)

4. 労務管理上の工夫について

Q21 女性医師の採用にあたり、貴院のアピールポイントと思うものを以下の選択肢から
すべて選んでください。(複数選択可)
また、貴院が女性医師を募集するにあたって、もし、“不利に”働いていると考える
ポイントがあれば、以下の選択肢からすべて選んでください。(複数選択可)

	(1) 貴院のアピールポイント	(2) “不利に”働いていると考えるポイント
1 給与水準や諸手当	1	1
2 多様な勤務形態を選べる人事制度	2	2
3 休日休暇の充実	3	3
4 立地や通勤アクセス	4	4
5 福利厚生プログラム	5	5
6 教育訓練・キャリアアップ支援	6	6
7 設備の充実	7	7
8 その他(1)(具体的に:) (2)(具体的に:)	8	8
9 わからない・特になし	9	9

Q22 65 歳以上の医師の採用にあたり、貴院のアピールポイントと思うものを以下の選択肢から**すべて**選んでください。(複数選択可)

また、貴院が 65 歳以上の医師を募集するにあたって、もし、“不利に”働いていると考えるポイントがあれば、以下の選択肢から**すべて**選んでください。(複数選択可)

	(1) 貴院のアピールポイント	(2) “不利に”働いていると考えるポイント
1 給与水準や諸手当	1	1
2 多様な勤務形態を選べる人事制度	2	2
3 休日休暇の充実	3	3
4 立地や通勤アクセス	4	4
5 福利厚生プログラム	5	5
6 教育訓練・キャリアアップ支援	6	6
7 設備の充実	7	7
8 その他 (1) (具体的に：) (2) (具体的に：)	8	8
9 わからない・特になし	9	9

Q23 他の医療機関との医師の人事交流の制度はありますか。

1 ある	2 ない
------	------

Q24 貴院の常勤医師の副業・兼業に関する規定について、以下の選択肢から最も当はまるものを**ひとつ**選んでください。

1 副業・兼業の許可に関する規定がある
2 副業・兼業を禁止する規定がある
3 副業・兼業に関する規定はない

5. 日本医師会女性医師バンクへの期待や認知度について

Q25 日本医師会女性医師バンク（以下、当バンク）を知っていますか。

☐ 1 知っている	☐ 2 知らない
	→ (Q25SQ4へ進んでください)

(Q25で「1 知っている」を選択した方のみ)

Q25SQ1 貴院は、当バンクに登録していますか。

☐ 1 している	☐ 2 していない
	→ (Q25SQ3へ進んでください)

(Q25SQ1で「1 している」を選択した方のみ)

Q25SQ2 当バンクから医師を紹介されたことはありますか。

1 ある
2 ない
3 わからない

(Q25SQ1で「2 していない」を選択した方のみ)

Q25SQ3 当バンクに登録していない理由を教えてください。(自由記述)

--

(Q25で「2 知らない」を選択した方のみ)

Q25SQ4 当バンクは、情報登録から紹介・成立まで、求人施設、求職者ともに全て無料で
行っている職業紹介事業所です（当バンクの詳細については、回答後のページにあ
る URL からご確認ください）。

今後、状況に応じて利用することをお考えになりますか。

☐ 1 はい	☐ 2 いいえ
	→ (Q25SQ5へ進んでください)

(Q25SQ4で「2 いいえ」を選択した方のみ)

Q25SQ5 当バンクを利用することは考えないと回答された理由を教えてください。(自由記述)

本調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

以上で調査は終了となります。

調査結果は、より望ましい医療政策の実現に向けた政策提言、医師の就労継続支援、サポート体制並びに女性医師支援センターの新たな事業展開についての検討に活用させていただきます。

また、日本医師会女性医師支援センターでは、「女性医師バンク」として無料の職業紹介サービスの提供も行っております。

詳細は以下の URL からご確認ください。

<https://jmadbk.med.or.jp/guide>



さらに、新規に「医師と医療現場をつなぐマッチング事業」を始めました。

全国的に、中堅・シニア世代等の医師を対象として、医師不足地域での医療に関心・希望を有する医師の掘り起こしやキャリアコンサルティングを行い、必要に応じてリカレント教育や現場体験につなぎ、医師不足地域の医療機関とのマッチング、その後の定着支援を行っております。

主に、医師不足地域での勤務をご検討中の医師や、医師不足地域において広く求人をご検討中の医療施設の皆様のご登録をお願いいたします。

詳細は以下の URL からご確認ください。

https://jmadbk.med.or.jp/ishihenzai?utm_source=r7_survey_site&utm_medium=referral&utm_campaign=r7_doctor_survey



日本医師会女性医師バンク

TEL: 03-3942-6512

医師と医療現場をつなぐマッチング事業

TEL: 03-3942-2850

日本医師会女性医師支援センター

TEL: 03-3942-6470